



# わたなべ正博 通信



メールアドレス: masahiro3660@mac.com 上田市下之郷 473-1 TEL38-4452・FAX38-7935・携帯 09015542698 【わたなべ正博後援会】

《部内資料》

## 上田市議会産業水道委員会は「上田市中小企業振興基本条例」(仮称)制定に向けて「川口市・東大阪市」の条例を学ぶ

### 上田市で活かす

**条例制定の手法の一つとして、川口市議会の議員提案による「政策条例」中小企業振興条例**

**Q なぜ、議員提案なのか**

**A** 中小企業は、全事業所数の99%でこれらは地域経済を支える本市の重要な存在基盤であるという認識に立ち、議会として今やることは何かを考えた。それが中小企業振興条例です。

**Q 提案者はだれか**

**A** 平成21年11月の会派代表者にて、自民党派(現在16名)から中小企業振興条例(案)が公表され、案文が提示された。

**Q 条例の運用はどのように行われているのか**

**A** 「川口市産業振興指針策定検討会議」が設置され、「川口市産業振興指針」が策定され施行されている。

議員提案による「川口市中小企業振興条例」は全会一致を原則に進められたそのプロセスが確認できたこと。「産みの苦しみであった」板橋智之議長談(当時の自民党派の幹事長)  
また、議員提案ではあるが、関係団体などとはしっかりとやり取りがとれていること。議員提案による「政策条例」として「川口市歯科口腔保健の推進に関する

### 中小企業振興基本条例とは

自治体が独自に地域産業政策の実施主体として地域産業の振興に主体的に取り組む必要性が高まっています。そんな中「中小企業憲章」に基づく中小企業振興基本条例「理念条例」が全国の自治体に広がっています。

る条例」が紹介された。国で法律ができた、県で条例ができた、そうなれば市は動かないだろうと判断した。川口市の福祉の増進に責任を持つものとして市で条例をつくらねえと意味がない」この点で一致し議員提案となったこと。

**追** 条例制定には川口市歯科医師会の全面的な協力があつたこともあり条例制定となった。

### 東大阪市で実施した全事業所悉皆調査と東大阪市中小企業振興基本条例

**Q 全事業所実態調査の実施は市長の決断なのか**

**A** 長尾淳三革新市政のもと市長の決断で実施、全部局の課長級の職員が調査員として事業所を訪問し、調査票を回収(聞き取り)する方法で行った。平成11年から12年にかけて市内24000余の事業所訪問を実施。



井上さとし参議院議員 唐沢ちあきさん 石坂千穂県議団長



山下よしき参議院議員必勝の握手

わたなべ正博のノート (12日現在)

- 1日 日本共産党演説会 宮松本城 新池草刈り
- 2日 上田駅前モーニングスピーチ・6月議会開
- 3日 会・渡辺ブロック会議
- 4日 塩田地区振興会総会・上田コンベンション協会総会
- 5日 議会機能強化特別委員会・浦里小学校問題聞き取り・生活相談(税理)・一般質問聞き取り・平和行進実行委員会
- 6日 林活議員連盟役員会
- 7日 産業水道委員会正副打ち合わせ会
- 8日 北線水路草刈り・街頭宣伝4回
- 9日 つながらるパレード 上田
- 10日 一般質問(12日まで)
- 11日 一般質問終了慰労会(会派で恒例)
- 12日 唐沢千晶来田・市議団会議
- 13日 議会産業水道委員会・獅子舞保存会専門委員会
- 14日 モルティー街宣・民商塩田支部総会・水士里幹事会・千曲市あんずホール演説会
- 15日 浅間池代表会
- 16日 上田駅前モーニングスピーチ・渡辺ブロック会議
- 17日 塩田文化財保護協会総会
- 18日 議会機能強化特別委員会
- 19日 ワラビ摂り(党塩田西後援会)
- 20日 モルティー街宣・東信医療生協総代会・上小民商総会
- 21日 浅間池草刈り・上田市ポンプ操法大会・東塩田安全協会会議
- 22日 6月議会閉会・塩田地区出身管理職員と議員との懇親会・渡辺ブロック会議
- 23日 平和行進実行委員会
- 24日 議員定数研究委員会・別所線存続期成同盟会総会
- 25日 モルティー街宣・ささらの湯ほたるまつり
- 26日 上田労働と東京労働交流会
- 27日 党塩田西後援会「つどい」
- 28日
- 29日
- 30日

[6月]

次項へ

Q その調査は誰がどのように行ったのか

A 調査員は全部局の課長級以上の職員が行った。回収率は85.6%と高く、訪問による回収（聞き取り）がこのような結果を生んだ。

ただ、この悉皆調査は、その後実施されています。

Q その調査目的はどのようなものか

A 市内事業所の実態把握、施策情報などの周知の基礎資料、職員の経済政策の意義の喚起、事業所と行政の一体感の構築

Q 事業者など関係団体などの条例制定の声はあったのか

A 現市長のマニユフェストに、条例制定が盛り込まれたことに加えて、経済団体や商工会議所、労働団体から条例制定の要望が強くなってきました。



Q 条例制定について議会での議論はどうだったのか

A 共産党の議員から条例制定を求める提案もあったが、当時、議会として一致しませんでした。ただ、地域経済の活性化は求められました。議会でも、中小企業の振興を市政の重要な柱であるという、行政の基本姿勢が必要との議論もあり、条例制定に向けて、動き始めました。



委員長として、視察を受け入れていただいたことへのお礼の挨拶（東大阪市役所）

Q 条例案の立案は誰が行ったのか

A 庁内に策定委員会を設置し、条文づくりは行政が行い、外部に事業者、市民、公募などによる検討委員会を設置し、学識経験者も加えた特別委員会も設置し内容を深めた。

### 上田市で活かす

市長の「東大阪市の中小企業は日本を支えている」という強いおもいがあったこと。

議会内では超党派による条例制定に向けての議論があったこと。

条文はプロである職員が担当し、内容を深めるために学識経験者や事業者、さらには公募委員などで特別委員会を設置し同時進行させてきたこと。一年かけて条例を作り上げたこと。

業界団体などから条例制定の要望が再三にわたってあったこと。

### 経済のグローバル化と「構造改革」によって疲弊する地域

地域を支えているのは99%の中小企業・業者です。そこを最優先にした政策を打ち出すことによって、地域にお金を循環させ、地域経済を持続的に発展させることが可能になる。

### 地域の宝物

#### 「ちがい石」の校章

手塚 中澤勲介

「ちがい石」という石の名前は、この地方に住んでいる人ならば一度や二度は聞いた事があると思います。有名なのは東前山の弘法山から出るもので、大変めずらしく、上田市の天然記念物になっていて、採取が禁止されています。

弘法山以外でも独鉦山脈のあちこちから出ています。「斜長石」という小さな鉱物がX字形に交わっていて「カールスバット式双晶」といい、一辺が7ミリメートルぐらいの大きさです。



ところが、先日私たちの中学校の同窓会があり、その話を持ち出したところ「私が持っています。」

という人がおり、「大切にとっておいたけれど、お墓へ持っていくわけにもいかない。」というので、さつそくおくっていただきました。

大きさは二センチ角ほどの黒色のバッジで真ん中に「中」という字があります。

現在、このバッジはちがい石とともにとつこ館で展示してもらっています。ぜひ、とつこ館に足をお運びください。



弘法大師の誓石（ちかいいし）ともいわれています

塩田の里交流館 “とつこ館” にて

日本ではここだけからしか出ないといわれて大変貴